

よしみ 議会だより

2011
第126号
吉見町議会
11月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



地域のお祭りで笑顔の子どもたち(古名の薬師の灯籠)

9月定例議会

12月定例議会

11月30日(水)から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 平成22年度決算認定など …P 2 ~ 5
- 議案審議結果 …P 5
- 決算審議報告 …P 6 ~ 7
- 一般質問に7名登壇 …P 8 ~ 11
- 一部事務組合報告 …P 12
- 町内小・中学校、保育所を視察 …P 13
- 議会日誌、編集後記 …P 14

9月定例議会

平成22年度決算を認定

よしみけやき保育所・子育て支援センターの 建設費用を支出

(よしみけやき保育所は、平成22年度・23年度の2か年継続事業です。)

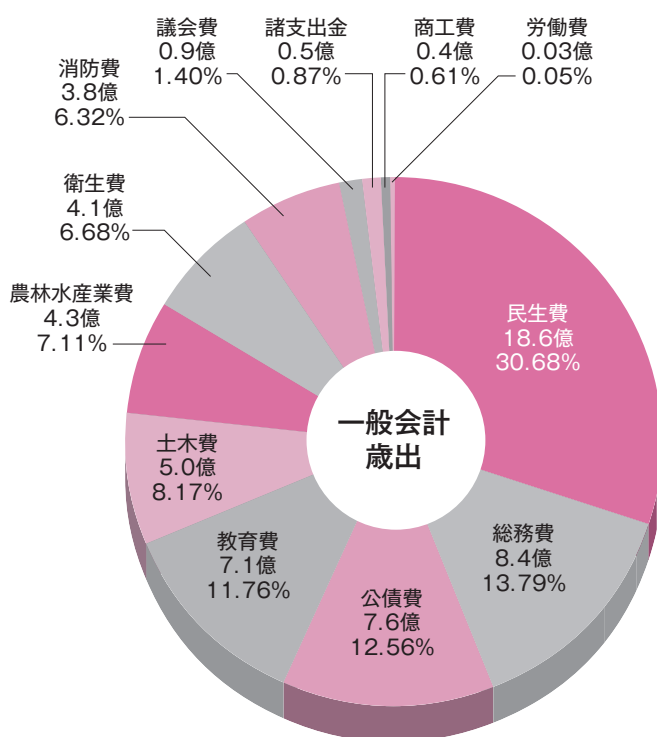
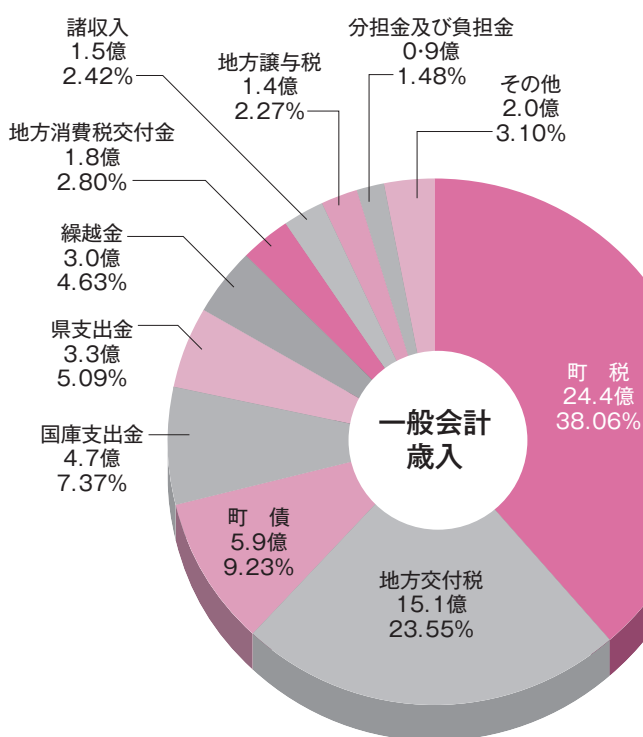
9月定例議会は、8月31日から9月16日までの17日間の会期で行なわれました。
今定例議会は、平成22年度の各会計決算認定、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算、条例の改正、人事案件等25議案と付議事件1件、議員提出議案1件の審議が行なわれ、すべて可決・認定・適任・同意されました。

一般質問については、7名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

平成22年度一般会計決算

一般会計決算は **歳入総額 64億266万8,846円** **歳出総額 60億7,058万8,379円**

差引額 3億3,208万467円





よしみけやき保育所・子育て支援センターの全景

特別会計の決算は—

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	21億9,247万1,550円	21億1,835万8,746円	7,411万2,804円
後期高齢者医療特別会計	1億2,643万5,460円	1億1,876万3,660円	767万1,800円
老人保健特別会計	815万4,048円	367万3,945円	448万 103円
介護保険特別会計	11億2,660万6,077円	10億8,454万4,575円	4,206万1,502円
百穴管理特別会計	2,014万5,699円	1,295万7,336円	718万8,363円
下水道事業特別会計	5億5,101万 897円	5億3,615万5,559円	1,485万5,338円
農業集落排水事業特別会計	4億9,518万4,864円	4億7,591万9,430円	1,926万5,434円

水道事業会計

収益的収入及び支出

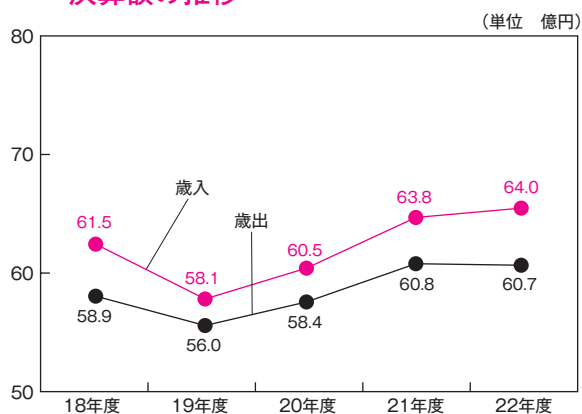
収入 6億 582万5,398円
 支出 5億7,498万8,959円

資本的収入及び支出

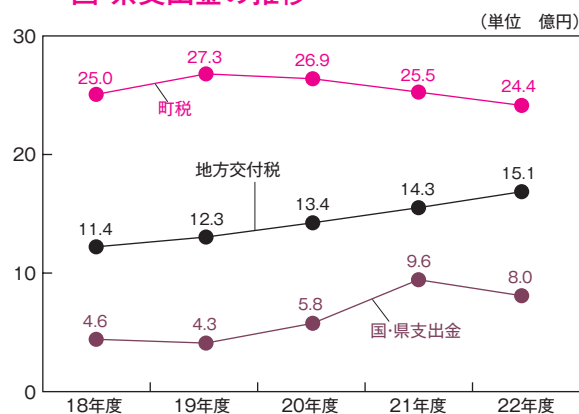
収入 1億2,803万2,500円
 支出 2億6,507万9,159円

※収入不足については、損益勘定留保資金などにより補てんしました。

最近5年間の一般会計歳入歳出決算額の推移



最近5年間の町税・地方交付税・国・県支出金の推移



主な議案の内容

■議案第42号

埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について

－内容－

○川口市と鳩ヶ谷市の合併に伴い、埼玉県市町村総合事務組合から鳩ヶ谷市が脱退をするものです。

■議案第43号

比企土地開発公社の解散について

－内容－

○所期の目的を達成したことにより、比企土地開発公社を解散するものです。

■議案第44号

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

－改正事項－

○よしみけやき保育所長の報酬を定めるものです。

■議案第45号

吉見町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

－改正事項－

○災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害弔慰金の支給対象者の拡大をするものです。

■議案第46号

平成23年度吉見町一般会計補正予算(第4号)

既定の予算額に歳入歳出それぞれ1億3,811万7千円を追加し、予算の総額を62億1,131万3千円とするものです。

－主な歳入として－

◎地方交付税	7,932万4千円
◎国庫支出金の社会資本整備総合交付金	125万円
◎国庫支出金の戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業補助金	1,580万円
◎県支出金の地域子育て創生事業費補助金	910万円
◎県支出金の高齢者と地域のつながり再生事業補助金	690万2千円
◎県支出金の埼玉県緊急雇用創出市町村事業費補助金	2,765万7千円
◎繰入金の財政調整基金繰入金	△9,618万2千円
◎前年度繰越金	7,838万6千円

などがあります。

－主な歳出として－

○コンビニエンスストア収納システム当初導入支援委託料	42万円
○高齢者と地域のつながり再生事業関係経費	690万2千円
○子育て支援センターの備品購入費	240万円
○予防接種委託料	952万6千円
○住宅リフォーム補助金	50万円
○水路改修工事及び水路整備工事	2,807万2千円
○道路施設等の修繕料	550万円
○舗装修繕工事	350万円
○維持修繕等工事	135万円
○既存木造住宅耐震診断補助金	50万円
○既存木造住宅耐震改修補助金	200万円
○自主防災組織備品購入費	168万円
○ふれあい広場駐車場整備工事	340万2千円
○台風6号による災害復旧工事	798万円

などがあります。

人 事

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員に
松本 晃氏(再任)を推薦することに決定いたしました。

住 所:吉見町大字一ツ木63番地
生年月日:昭和18年11月12日



公平委員会委員の選任同意

公平委員会委員に 岡野 一男氏(再任)を選任同意いたしました。

住 所:吉見町大字下細谷140番地
生年月日:昭和9年11月6日



公平委員会委員の選任同意

公平委員会委員に 矢嶋 義一氏(再任)を選任同意いたしました。

住 所:吉見町大字松崎472番地
生年月日:昭和22年11月18日



教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に 沖田 達雄氏を任命同意いたしました。

住 所:吉見町大字上砂513番地
生年月日:昭和24年12月26日



教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に 久保田 幸夫氏(再任)を任命同意いたしました。

住 所:東松山市沢口町27番地15
生年月日:昭和23年9月18日



議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	審議結果
議案第42号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について	原案可決
議案第43号	比企土地開発公社の解散について	原案可決
議案第44号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第45号	吉見町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	平成23年度吉見町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第47号	平成23年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第48号	平成23年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第49号	平成23年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第50号	平成23年度吉見町百穴管理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第51号	平成23年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第52号	平成23年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第53号	平成22年度吉見町一般会計決算認定について	認 定
議案第54号	平成22年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	認 定
議案第55号	平成22年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	認 定
議案第56号	平成22年度吉見町老人保健特別会計決算認定について	認 定
議案第57号	平成22年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	認 定
議案第58号	平成22年度吉見町百穴管理特別会計決算認定について	認 定
議案第59号	平成22年度吉見町下水道事業特別会計決算認定について	認 定
議案第60号	平成22年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算認定について	認 定
議案第61号	平成22年度吉見町水道事業会計決算認定について	認 定
議案第62号	人権擁護委員の推薦について	適 任
議案第63号	公平委員会委員の選任同意について	同 意
議案第64号	公平委員会委員の選任同意について	同 意
議案第65号	教育委員会委員の任命同意について	同 意
議案第66号	教育委員会委員の任命同意について	同 意

議員提出議案

発議番号	件 名	審議結果
発議第1号	学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書(案)の提出について	原案可決

議長発議付議事件

議 員 派 遣 の 件	原案可決
-------------	------



安全安心なまちづくりへの取り組みを

総務建設常任委員会 | 小林 周三 委員長

平成22年度吉見町一般会計決算のうち、関連する歳入及び歳出の議会費、総務費（福祉町民課所管分を除く）、衛生費（健康推進課所管分を除く）、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成22年度吉見町百穴管理特別会計決算、平成22年度吉見町下水道事業特別会計決算、平成22年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算、平成22年度吉見町水道事業会計決算について、審議いたしました。

水防訓練の今後の在り方について。

毎年、8種目の訓練を実施してきましたが、今回の東日本大震災を教訓としてより実践的な新たな訓練種目の導入を視野に、町の水防協議会に諮り検討してまいります。

大規模な水害に備えた救助艇は、町内に何艇あるのか。

町所有の救助艇が1艇、比企広域消防本部所有のものが1艇、ともに吉見分署に備えてあります。これに対し、近年、記録的な集中豪雨等により、河川の氾濫や堤防の決壊などに備え、大型の救助用ゴムボートの購入を検討するなど、町民の安全安心のため、より実践的な訓練のために増額予算にしてほしいと要望いたしました。

区長から申請が上がっている工事要望への対応及び残工事については。

平成22年度は松崎地内の側溝整備を含む34件の工事要望に取り組んでおります。残工事は、平成22年度末で407件です。

荒川右岸流域下水道維持管理負担金の決算書と行政報告書の金額の差異について。

維持管理負担金の累計収支差額の吉見町分の返還を受け入れたためです。

町内のお祭りを観光資源にできないか。

こどもまつり、町民体育祭、コスモスまつり、吉見まつり、イルミネーションフェスタ等があります。これに対し祭りを観光資源として据え、観光課の設置、また、観光協会の設立を検討するようにと要望いたしました。

コスモスまつりは以前のような勢いのあるコスモスができるか。また、バザーで早い時間に品切れが目だつが対策は。

コスモスについては、天候や連作障害等による地力低下等、さまざまな要因が考えられます。今年は酸性土壌を中和するため石灰の散布を行ないました。また、バザーの品切れについては、関係者との合同会議時に数量の確保をお願いしてまいります。

よしみんサポート委員会へ支援を。

会員数は、商工会青年部OB11名、商工会青年部21名、役場職員13名の45名です。活動内容は、テレビ出演6回、新聞・雑誌への掲載が9回、吉見まつり、ゆるキャラサミット等、町内外への開催イベントに36回出場し、町のPR活動をしております。これに対し、町の活性化に寄与する大きなPR事業であることから、よしみんサポート委員会への補助金を増額するよう要望いたしました。

活発な質疑応答、積極的な要望を行ない、本委員会に付託された議案について慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決しました。



教育、福祉、介護予防の充実に 取り組んだ平成22年度決算

教育福祉常任委員会 | 安孫子 和子 委員長

教育福祉常任委員会が所管する一般会計歳入歳出決算のうち、総務費（福祉町民課所管分）、民生費、衛生費（健康推進課所管分）及び教育費に係る歳入合計は、8億2,588万6,011円、一般会計歳入総額64億266万8,846円に対する割合は、12.90%であります。

これらに係る歳出は、予算現額30億2,255万3千円に対して、支出済額27億3,904万9,623円、翌年度繰越額2億4,731万円であり、執行率は98.70%であります。

障害者福祉・老人福祉事業等は。

障害福祉費の支出済額は約3億1,150万円。障害児（者）生活サポート事業運営補助金をはじめとする障害者自立支援給付費、重度心身障害者医療支給費等障害者サービスに係る扶助費等です。また、平成22年度開設した、吉見町地域活動支援センターは、現在15名の方にご利用いただいています。

老人福祉費等の主な支出は、老人クラブや吉見町シルバー人材センターへの補助金及び敬老祝金給付などの扶助費、老人福祉センター（荒川荘）の指定管理料などです。荒川荘については老朽化に伴い、変電設備の交換工事及び浴室の天井の張り替えを行ないました。今後は耐震化を検討するよう要望いたしました。

介護予防実態調査分析支援事業とは。

平成21年度から平成23年度までの3年間、より効果が高いと見込まれる運動機能向上、口腔機能向上、栄養改善を組み合わせた複合型のプログラムで、国の補助100%の介護予防モデル事業です。

子育て支援、教育環境の充実。

平成22年度より、子ども医療費の給付対象を中学校修了まで拡大。受給資格者2,572人からの申請2万3,398件に対する給付金は4,245万505円でした。（仮称）よしみ保育所の建設、西小学校屋内運動場の建築、B&G海洋センタープール改修工事に向けて進

められています。また、保育料未納者対策として、子ども手当を現金給付とし、納付相談を行ない、16名の保護者から147万8,700円納付がありました。現下の経済状況のもと、保育料は、収入に見合ったものとするため、階層区分の細分化を要望いたしました。

国民健康保険特別会計の運営状況 及び後期高齢者医療特別会計について。

恒常的に一般会計からの法定外繰入が必要です。平成22年度の不納欠損は67件、金額は2,515万3,159円で、滞納者は必ずしも生活困窮が認められる方ばかりではないのが現状です。

特定検診の受診率は27.4%で、国の示す平成24年度までの受診率65%の目標値の達成は、困難な状況です。ペナルティについても不透明です。

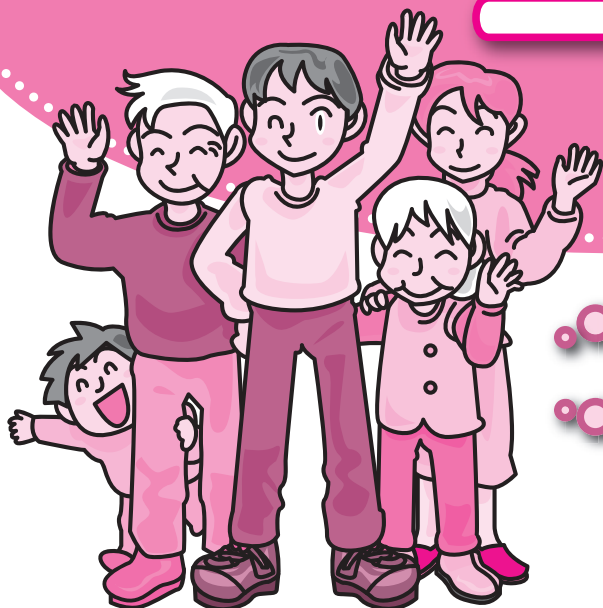
後期高齢者医療特別会計の過年度分の滞納収納率100%は、県内では、吉見町含め3町村だけです。

町の介護予防事業は全国の先進的事例に選定。

通所型介護予防事業「おたっしゃくらぶ」「かるやかくらぶ」は、全国1,900を超える事業の中で、「ぜひ薦めたい取り組み」7事例に選定されました。こうした取り組みは、町民の誇りであり、今後の更なる取り組みの充実に期待をします。

活発な質疑応答、積極的な要望を行ない、本委員会に付託された議案について慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決しました。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

土砂災害防止、 子ども110番の家について

伊与田 隆 議員

問 吉見町には、土砂災害危険か所が何か所あるか。また、指定済みのか所はあるのか。

答 町には西部の丘陵地を中心に38か所がある。県が指定した地区は、南吉見地区2か所、湖畔地区1か所が平成21年3月に指定されている。

問 土砂災害の指定にはどのような区分があるか。

答 土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）は、傾斜度が30度、高さが5m以上の区域、急傾斜の上端から水平距離が10m以内の区域及び急傾斜地の下端から高さの2倍の区域です。土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）は、イエローゾーンよりも傾斜地の高さ、水平距離も長く、建築物に損壊が生じ危害の恐れのある区域の2種類がある。

問 レッドゾーン指定になった場合の制約と、家の建替時に個人の負担は増えるのか。

答 家を建替する場合には建物を後退させるとか、新

たな開発行為に対しては許可制になる。指定を受ける前よりも負担が増える。

問 土砂災害警戒区域、流川地区の説明会を行なったが、県に対してどのような回答を考えているか。

答 地権者のご理解をいただき、町としてはイエローゾーンに指定することに賛成したいと考えている。

問 子ども110番の家について児童・生徒への周知は。

答 安全マップを掲示し、ホームルームの時間に指導している。また保護者と一緒に家の確認をしている。

問 子ども110番の家の中には継続困難な家もあるが。

答 一部の家には、継続が困難と思われるケースがある。要綱を改正し制度の充実を図ってまいりたい。



子ども110番の家

水害時の避難計画・町の安全管理について

» 神田 隆 議員

問 水害時、自治体が発令する避難準備情報、避難勧告、避難指示の発令伝達方法、また避難経路計画等の情報についてお聞きしたい。

答 情報の伝達は、防災行政無線をはじめ各種の伝達手段により住民の皆様へ伝達することによりしております。避難中の経路の安全管理につきましては、広報車等の巡回により経路の安全を確認し、適時情報を住民の皆様へお伝えすることとしております。



市野川

安全・安心のまちづくりの推進を

» 尾崎 豊 議員

問 今年の夏は原発停止の影響で、日本中が節電対策の夏となりましたが、電力に関わるエネルギー対策は重大な関心事であります。吉見町の取り組みは。

答 環境基本計画で、地球温暖化に積極的に取り組む町を掲げていますので、今後これらの計画に基づいてエネルギー対策を進めていきます。

問 今後ソーラー設備等の町の助成制度の検討は。

答 環境基本計画への取り組みとして検討します。

問 今年の猛暑の中、町としての節電効果は。

答 冷房室内温度の29度設定、照明の間引き等を実施し、使用電力量は前年7月の22%削減となりました。

問 吉見町の耕作放棄地の現状と今後の活用方法は。

答 平成20年度に国、県協力のもと調査を実施し約122haの耕作放棄地を確認しています。農地面積の減少は食料自給率の低下に結びつきます。利用集積や活用方向等の対策が必要かと考えます。

問 避難所の選定方法について、また避難所の安全性及び運営方法、各生活支援についてお聞きしたい。

答 選定の方法は、建物が堅牢で、水害時の水深よりも高い床が確保でき、一時に大勢の人を収容できる各小学校施設等です。運営は、災害対策本部の福祉健康部を中心に開設、運営を行ない、生活支援は地域防災計画及びマニュアル等に定めております。

問 保育所及び小中学校の避難方法と緊急連絡方法についてお聞きしたい。

答 町内各保育所は、早めの降園に努めるとともに、今後水害時の水害避難計画を含め、対応マニュアルを策定してまいります。小中学校では、早期下校登校時間の変更など安全確保に努めます。保育所及び小中学校の緊急連絡方法は、電話連絡を基本としています。万一連絡不可能となった時は、各学校長の判断を優先させることになっております。

問 町の安全管理について、擁壁・傾斜地の安全対策についてお聞きしたい。

答 傾斜地や地滑りが起きそうな区域の地形の変状を県と連携しながら巡視、点検、土砂災害の前兆現象の早期発見に努め安全確保に努めてまいります。

問 町の施設の利用者を増やすことは活性化にもつながる部分もありますが、利用者の状況は。

答 広い駐車場などが確保されており町内外の利用者があり増加傾向にありますが、努力していきます。

問 町内で買い物ができる施設の検討を。

答 町内の買い物も徐々に便利になっていますが、今後、道の駅や商工会等関係機関と連携し、町内の商業機能の導入について研究していきます。

問 中学生の活躍と記録の残し方について。

答 今年も多く県の大会また関東大会、全国大会への出場がありました。今後学校と協議して検討します。

問 中学校の後援会について。

答 今後も引き続き支援をお願いいたします。



吉見中学校の部活動

マルチメディア・ディジー教科書の利用を!

» 公明党 安孫子和子 議員

問 ディジー教科書は、パソコン等を利用して、通常の教科書の文章を音声で再生した上で、対応する文章を色で強調し、文字の大きさを変えるなど工夫を施すことで、子供たちに教科書の内容の理解を促す効果があります。発達障がい等で、読むことが困難な子供たちのためのディジー教科書の利用の見解は。

答 各学校での支援を必要とする児童生徒の把握、パソコン等環境整備について研究してまいります。

問 土日、休日、夜間の緊急時のAED貸出しについて考えを伺います。

答 公共施設に設置してあるAEDは、開庁時間中は、いつでも貸出しできます。今後は閉庁時間であっても、職員がいる場合は貸出しできるようにしてまいります。県に登録している施設にも就業時間外でも可能な限り、貸出しをお願いしてまいります。

問 町内のAED設置場所の周知及び県の設置情報

提供システムの情報提供について伺います。

答 広報やホームページに掲載するとともに、AEDの設置促進などの環境整備に努めてまいります。



AED(自動体外式除細動器)

問 自治会等が設置する場合の助成の見解は。

答 啓発と合わせながら考えてまいります。

問 視力の弱い方や色の識別が苦手な方、文字を読むのが苦手な方がホームページを快適に閲覧するためのアシスタントツール導入について伺います。

答 文字拡大や画面の色の変更機能の導入を予定しています。音声読み上げは、検討してまいります。

問 外国人のための自動翻訳システム導入の見解は。

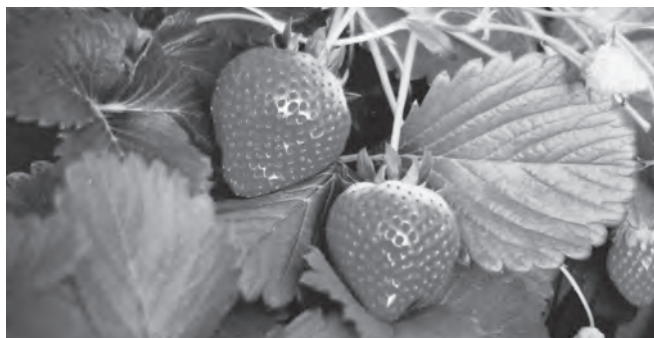
答 今回のホームページ更新時に、英語表記のページ作成を予定しております。

町の特産品が危機に立っている

» 小林 周三 議員

問 吉見町の特産品であるいちごが危機に立っている。町として、どのような施策を行なっていくのか。

答 吉見町第5次総合振興計画の多様な担い手の育成、高付加価値農産物の取り組み、地産地消、体験農業の推進に取り組んでまいります。



吉見町の特産品のいちご

問 吉見町のB級グルメ油味噌を特産品として、どのように活用していくのか。

答 油味噌ぎょうざ、油味噌おやきなどを新たに開発、現在12軒の町内の飲食店で販売するとともに、その存在を町外にPRし町の活性化につなげたい。道の駅での販売も前向きに検討し、この油味噌を吉見町の顔となるよう職員一同英知を集結していきたい。

問 にぎわいのある町にするため、商工観光係を今後どのように活用するのか。

答 商工業については融資制度普及を図り、観光については百穴、史跡など町内の観光資源を有効活用し、今後条件が整えば観光協会の設立を考えたい。

問 全国学力学習状況調査について。いわゆる学力テストから何が見えたのか。テスト結果をもっと生かさないのか。

答 本町では全校が参加した。その結果はほとんどが全国平均を上回っていたが、国語では話すこと、聞くこと、読むことで不足が、算数では数量関係は良かったが、計算、図形が不足だった。また、家庭での学習時間やあいさつ行動では全国平均を上回った。町ではこのデータを学校教育推進委員会を中心に分析、これを参考に学校で取り組んでいき、今後の学力の向上、定着につなげたい。

太陽光発電設備への補助金制度の創設について

≫ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 福島第一原発の事故以降、エネルギー政策の転換に向けて太陽光発電が脚光を浴びる中、計画停電の備えや節電を目的に各家庭で太陽光パネルを設置する動きが広がっている。国や県でも行なわれている太陽光発電設備への補助金制度を町としても創設することについて町の見解を伺いたい。

答 過日開催した町の環境審議会の中で、地球温暖化対策として、太陽光発電システムへの補助金制度を提案し、現在検討しているところである。

問 太陽光発電を設置する上で、ネックになっているのが高額な設置費用である。設置費の負担軽減策として、低利の融資や無利子の貸付を行なっている自治体もあるが町としても普及に向けた取り組みとして、補助金制度の創設と合わせて検討してみてもどうか。

答 今後の検討課題として、審議会の中で協議させていただきたい。



よしみけやき保育所に設置された太陽光パネル

問 住宅の耐震診断、耐震補強工事への助成制度を創設することになっているが、いつからどのような内容で行なっていくのか。

答 10月1日付で施行し、補助制度を開始したい。耐震診断は上限5万円で補助率は2/3まで、補強工事は上限20万円で補助率は23%までとなっている。

問 制度を活用していただくことで、町内の建設業者の仕事起こしにもつながる。町としてもあらゆる機会を通じてPRしてほしいと思うが、PRの方法は。

答 町のホームページや広報よしみ、窓口にチラシを置き、融資制度や税の優遇措置制度も合わせて周知していきたい。

避難所運営・通学路土砂崩れ・県道安全対策

≫ 公明党 秋山 真美 議員

問 災害時に地域の避難所としての役割を担う学校施設の災害発生時の利用方法について伺う。

答 学校施設は堅牢で十分な高さもあり、地震・水害ともに、指定避難所としており、生活物資の備蓄もしています。また、要援護者には特別な配慮をすることとなっています。



防災倉庫と備蓄品

問 避難所の運営方法について伺う。

答 災害時、学校での避難所運営は、学校の協力をいただきながら町職員が中心となって行ないます。地元区長やボランティアと連携しながら、避難所の自主的な運営を目指します。

問 西が丘小・吉見中の児童・生徒の通学路である武蔵丘短大グラウンド付近の土砂崩れ現場の安全確保について伺う。

答 今後、このような事が起こらないように、関係各課と連携を図りながら、地権者に対し、道路利用に支障にならないように法面保護の協力を要請し、通学路として児童・生徒の安全を確保します。

問 旧吉見高校跡地の改修工事が平成24年度より始まり、平成25年度には、県衛生研究所も移転します。県道の交通量増加に伴う安全対策について伺う。

答 県衛生研究所及び(財)埼玉県健康づくり事業団の移転に伴い、県道の交通量が増加するものと認識しております。以前より(平成12年)荒川荘入口に信号機設置の要望もあります。交通安全対策については、事業主体である、埼玉県と協議を重ねながら進めてまいります。

一 部 事 務 組 合 報 告

北本地区衛生組合議会定例会

» 安孫子和子 議員

期日 平成23年7月28日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から岩崎勤議員、小林周三議員、安孫子和子の3名が出席いたしました。

上程されました議案は3議案です。

○議案第7号 北本地区衛生組合監査委員の選任につき同意を求めることについて

現監査委員の任期が満了となるため、吉見町推薦の北村良雄氏の選任同意を求めるものであります。

○議案第8号 平成22年度北本地区衛生組合歳入歳出決算の認定について

平成22年度の歳入の決算額は、3億9,144万8,885円

で、予算現額に対する収入割合は、100.05%で、歳出決算額は、3億3,405万9,121円で、予算現額に対する執行率は85.39%です。歳入歳出差引額5,738万9,764円は、平成23年度に繰り越すものです。

歳出の主なものは、総務費1億1,048万3,451円で、歳出全体の33.07%。し尿処理費1億8,991万1,598円、公債費2,678万2,124円であります。

○議案第9号 平成23年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4,739万円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億6,175万1,000円とするものです。

以上、上程されました議案第7号から第9号の3議案は、原案のとおり同意、認定、可決されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会

» 尾崎 豊 議員

期日 平成23年8月30日 午前10時から

場所 東松山市議会議場

吉見町議会から宮崎善雄議長、尾崎豊の2名が出席いたしました。常任委員会の選任がなされ、互選の結果、総務常任委員会では、吉見町の宮崎善雄議長が総務常任委員会の副委員長に選任されました。上程されました議案は14議案です。

○議案第14号 比企広域市町村圏組合一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

○議案第15号 比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について

○議案第16号 財産の取得について

○議案第17号 請負契約の締結について

○議案第18号 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更および財産処分について

○議案第19号 平成23年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算(第1号)について

○議案第20号 平成23年度比企広域市町村圏組合消防

特別会計補正予算(第2号)について

○議案第21号 平成23年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算(第1号)について

○議案第22号 平成23年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計補正予算(第1号)について

○議案第23号 平成22年度比企広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算の認定について

○議案第24号 平成22年度比企広域市町村圏組合消防特別会計歳入歳出決算の認定について

○議案第25号 平成22年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○議案第26号 平成22年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計歳入歳出決算の認定について

○議員提出議案第1号 比企広域市町村圏組合議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

以上、上程されました議案につきましては慎重審議の結果、原案のとおり可決、認定されました。

閉会中の所管事務調査報告

視察を実施

教育福祉常任委員会 | 安孫子和子 委員長 |

調査日 平成23年7月19日

目的 ・教育施設の現況について

・よしみけやき保育所建設工事の進捗状況について

今回の閉会中の所管事務調査は、小・中学校の教室の暑さや湿度等、教育環境の現状、よしみけやき保育所の建設工事の進捗状況を調査いたしました。

調査当日は台風6号の接近に伴う豪雨が断続的に降り続く中であったので、日頃の教室の暑さの状況は体験できませんでしたが、窓を締め切った教室内の室温は各校とも30度から34度という状況でした。7月上旬から中旬の各校の気温調査の結果では、低層階の午前中の早い時間で30度から32度、上層階の午後は35度から38度が計測されていました。また、いずれの学校でも、小規模な雨漏りがありました。「学校環境衛生基準」では、夏季の温度30度以下、湿度30～80%が望まし

いと定められていますが、基準達成は困難な状況にあり、扇風機の増設、1階教室の利用、よしずやグリーンカーテンの活用等の工夫に取り組みとともに、老朽化したエアコンの更新及びトイレの異臭改善、雨漏り修理、また、東二小の体育館の改築等、対処療法ではなく計画的に取り組むよう要望いたしました。

保育所建設工事の進捗状況は、95%に達しており、順調に推移しております。4園で、登園時間調査を実施しましたが、場所も変わり、調査結果どおりにいかない場合も想定されますので、登園時の円滑な動線と安全確保に努めるよう要望いたしました。以上、閉会中の所管事務調査報告といたします。



吉見中学校の視察の様子



よしみけやき保育所の視察の様子

県町村議会議員研修会が
フレサよしみで開催される。

10月14日(金)、フレサよしみで平成23年度県町村議会議員研修会が開催されました。研修会は、一般社団法人減災・復興支援機構の専務理事であります宮下加奈氏をお迎えし、「東日本大震災の教訓を生かして」と題し、講演が行なわれました。



議 会 日 誌

月 日	件 名
H23.6.28	平成23年度東松山地区防犯協会総会
29	平成23年度吉見町コミュニティづくり 推進協議会総会
7. 4	比企郡町村議会議長会定期総会
6	議会だより編集委員会
6	東松山鴻巣線整備促進協議会総会
9	吉見町名誉町民推戴式典
12	議会だより編集委員会
15	平成23年度荒川上流改修促進期成 同盟会総会
17	湖畔団地 夏祭り
19	教育福祉常任委員会閉会中の所管事務 調査
20	議会だより編集委員会

月 日	件 名
7.23	「がんばろう日本 がんばろう東北」 吉見町から元気を送ろう! 吉見町復興支援ナイトバザール
8. 2	大里比企広域農道整備事業推進協議会 第40回通常総会
4~5	埼玉県町村議会議長県外視察
6	第17回吉見町総合防災訓練
6	南吉見団地 夏祭り
12	西小学校屋内運動場建築工事安全祈願祭
18	比企広域市町村圏組合関係市町村選出 議員代表者会議
24	議会運営委員会
27	たつみ平団地 夏祭り
30	比企広域市町村圏組合議会定例会

編 集 後 記

さわやかな小春日和の散歩道、そよ風によって金木犀のほのかな香りが、また、あちこちにコスモスの花が咲き、静かに揺れる姿に自然の美しさと深まる秋を感じる季節となりました。

皆様には、どのような秋を楽しまれておりますか。

編集委員会では、議会だよりをもっと身近に感じていただきたい、また、議会に対する理解を深めていただけるよう、わかりやすく、読みやすい紙面づくりに取り組んでまいります。皆様のご意見、ご提案をお待ちしております。

議会だより編集委員会

委員長 内 野 正 美
副委員長 伊与田 隆
委員 宮 崎 善 雄
委員 杉 田 しのぶ
委員 宮 崎 雄 一
委員 荻 野 勇